

臨時記者会見市長挨拶

令和4年7月15日（金）午後3時から 庁議室

記者の皆様には、お忙しいところ記者会見にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、日ごろから市政に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響が長引くなか、混乱するウクライナ情勢に端を発した原油価格・物価高騰によって、市民の生活や事業者の活動は厳しさを増しており、国や県においても、原油価格の抑制をはじめとした緊急対策を実施しているところであります。

このような状況において、本市といたしましても、市民の暮らしや事業者の活動を守るべく、国により創設された地方創生臨時交付金 原油価格・物価高騰対応分を活用しつつ、さらなる財政出動を加え、総額9億円超に上る本市独自の支援策をとりまとめました。

今回の支援策の特色としましては、原油価格・物価高騰の影響が特に大きい分野に的を絞った対策と、幅広い層への支援につながる対策を合わせた総合的な支援策となっており、7つのメニューで構成されております。

具体的には、物価高騰や年金額の減少によって、日々の生活に苦勞されている若者世代や高齢者への商品券の交付、燃料費や飼料価格の高騰、売り上げの減少に見舞われている事業者や農業者への給付金の支給、また、給食費の値上げを防ぐための保育施設への補助、さらには、一般家庭や事業者が負担する下水道使用料などの減免を行ってまいります。

詳細につきましては、この後「財政部長」よりご説明いたしますが、落ち着きを見せていた新型コロナウイルス感染症も、現在、再拡大の兆候があり、また、原油価格・物価高騰の先行きも依然として不透明な状況にあります。

今回とりまとめた本市独自の支援策をスピード感を持って実施し、市民や事業者の皆様の安心を守り抜く、という固い決意を述べ、わたくしの挨拶とさせていただきます。